F3

FM/AMチューナー

F-F3MK2

はじめに
接続
各部のなまえ
操作のしかた
その他

インターネットによるお客様登録のお願い

http://pioneer.jp/support/

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
弊社では、お買い上げいただいたお客様に「お客様登録」をお願いしています。
上記アドレスからご登録いただくと、ご使用の製品についての重要なお知らせなどをお届けいたします。なお、上記アドレスは、困ったときのよくある質問や各種お問い合わせ先の案内、カタログや取扱説明書の閲覧など、お客様のお役に立てるサービスの提供を目的としたページです。

取扱説明書

安全上のご注意

● 安全にお使いいただくために、必ずお守りください。
● ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

この取扱説明書および製品への表示は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

⃠ 記号は禁止（やってはいけないこと）を示しています。
図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

● 記号は行動を強制したり指示する内容を示しています。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

異常時の処置

● 万一煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

● 万一内部に水や異物等が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 万一本機を落としたり、カバーを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

設置

● 電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。また、電源コードが引っ張られないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● 放熱をよくするため、他の機器や壁等から間隔をとり、ラックに入れる場合はすき間をあけてください。また、次のような使い方で通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
→ あおむけや横倒し、逆さまにする。
→ 押し入れなど、風通しの悪い狭いところに押し込む。
→ じゅうたんやふとんの上に置く。
→ テーブルクロスなどをかける。

- **着脱式の電源コード（インレットタイプ）が付属している場合のご注意：** 付属の電源コードはこの機器のみで使用することを目的とした専用部品です。他の電気製品ではご使用になれません。他の電気製品で使用した場合、発熱により火災・感電の原因となることがあります。また電源コードは本製品に付属のもの以外は使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、この機器の本来の性能が出ないことや、電流容量不足による発熱から火災・感電の原因となることがあります。

- 本機の上に火がついたろうそくなどの裸火を置かないでください。火災の原因となります。

使用環境

- この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

- 風呂場・シャワー室等では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト 50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しないでください。火災·感電の原因となります。

- この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（ＤＣ）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

使用方法

- 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で（電源）プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

- 本機の通風孔などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 本機のカバーを外したり、改造したりしないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して火災・感電の原因となります。コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、販売店に交換をご依頼ください。

- 雷が鳴り出したらアンテナ線や電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

⚠ 注意

設置

- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

- 電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 本機を調理台や加湿器のそばなど油煙、湿気あるいはほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- テレビ、オーディオ機器、スピーカー等に機器を接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

- 本機の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- 本機の上にテレビを置かないでください。放熱や通風が妨げられて、火災や故障の原因となることがあります。（取扱説明書でテレビの設置を認めている機器は除きます。）

- 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

● 電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

● 本機の上にテレビやオーディオ機器をのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。重い場合は、持ち運びは 2 人以上で行ってください。

● 窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。火災の原因となることがあります。

使用方法

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様はご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 旅行などで長期間ご使用にならない時は安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電池

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 電池を機器内に挿入する場合、極性表示（プラス（＋）マイナス（－）の向き）に注意し、表示どおりに入れてください。間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 長時間使用しない時は、電池を取り出しておいてください。電池から液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また万一、漏れた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 電池は加熱したり分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液漏れにより、火災、けがの原因となることがあります。

保守・点検

● 5 年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。なお掃除費用については販売店などにご相談ください。

● お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

本機の使用環境温度範囲は5 ℃～35 ℃、使用環境湿度は85 %以下(通風孔が妨げられていないこと)です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

目次

第 1 章
はじめに

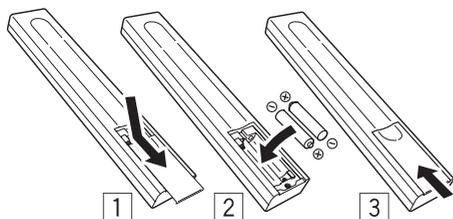
特長

- 高音質パーツ採用
  - ショットキーバリアダイオード
  - メタルインシュレーター
  - 金メッキ端子
  - 高 S/N バランスタイプアンテナ入力（AM）
- ステーションネームメモリー機能（FM/AM 100 局）
- オートプリセットメモリー機能
- MPX モード

付属品の確認

以下の付属品があることをご確認ください。

- リモコン
- 単 4 形乾電池 (IEC R03)
- 電源コード
- FM アンテナ
- AM ループアンテナ
- オーディオコード
- SR ケーブル
- 保証書
- 取扱説明書（本書）

リモコンに電池を入れる

メモ

- リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

警告

電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい乾電池と一度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 乾電池には同じ形状でも電圧の異なるものがあります。種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間（1 カ月以上）リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示（条例）に従って処理してください。

本機を設置する

本機を設置するときは、必ず平らで安定した面に設置してください。

- 次の場所には本機を設置しないでください。
  - テレビの上（映像が歪むことがあります）
  - カセットデッキまたは磁気を発する機器の近く (音声に悪影響を与えることがあります)
  - 直接日光の当たる場所
  - 湿気のある場所
  - 高温または低温の場所
  - 振動のある場所
  - ほこりやたばこの煙の多い場所
  - 台所など煙が出たり油を使用する場所

設置について

注意

- 放熱のため、本機の上に物を置いたり、布やシートなどを被せた状態でのご使用は絶対におやめください。異常発熱により故障の原因となる場合があります。

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm以上、背面から 10 cm以上、側面から 10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

第２章

接続

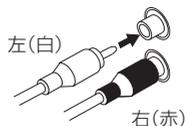
接続コードについて

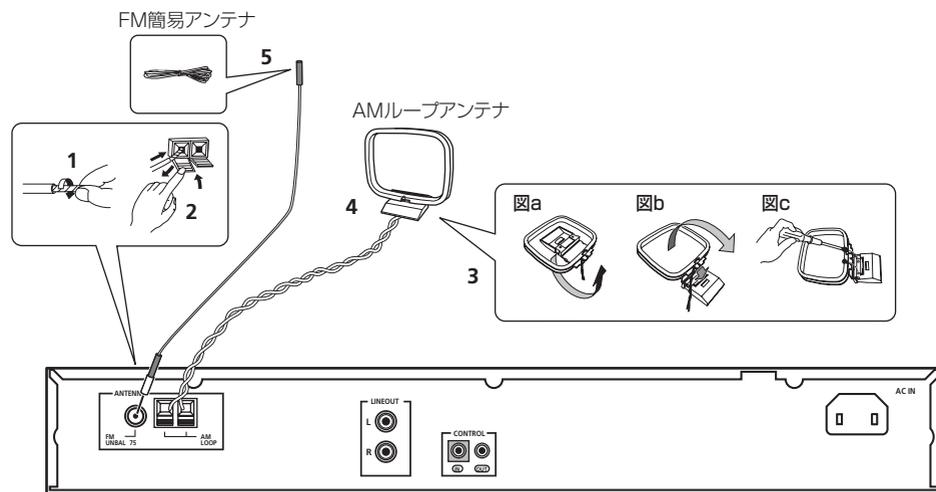
コードやケーブルを本機の上や近くに置かないよう注意してください。コードやケーブルが本機の上に置かれていると、本機の電源装置から磁場が生じて、スピーカーから雑音が発生することがあります。

⚠ 重要

- 機器の接続を行うときは、必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードは最後に接続してください。
- 電源コードを抜くときは、必ず本機の電源を切ってから抜いてください。

アナログオーディオコード

アナログのオーディオ機器に接続するには、オーディオコードを使用します。一般的な赤／白プラグのケーブルで、赤いプラグをR（右）端子に、白いプラグをL（左）端子に接続します。

アンテナを接続する

AMループアンテナとFMアンテナを下図のように接続します。受信状態と音質を良好にするには外部アンテナの接続をお勧めします（下記の「外部アンテナを接続する」をご覧ください）。

1 **AM アンテナコードの両端の被覆をはがす。**

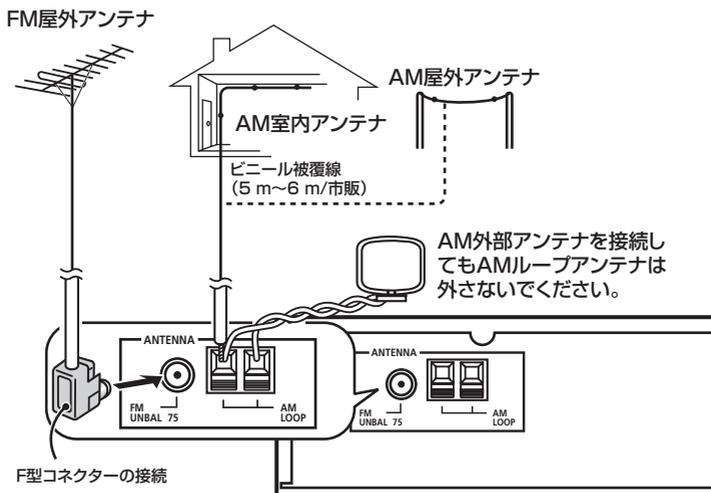
2 **端子のツメを開いて AM アンテナコードの両端を確実に差し込み、ツメを閉じて固定する。**

3 **AM ループアンテナを組み立てる。**
AM ループアンテナは左ページの図 a ～ b をご覧になり組み立ててください。

- 壁などに取り付けるときは、受信状態の良い場所にネジや画びょうなどを使って取り付けます（図 c）。

4 **受信状態が良くて平らな場所に AM アンテナを設置する。**

5 **AM ループアンテナと同様に FM アンテナを接続する。**
FM アンテナは受信状態を良好にするために、壁や窓枠などに沿って縦方向に十分に伸ばしてください。

接続

外部アンテナを接続する

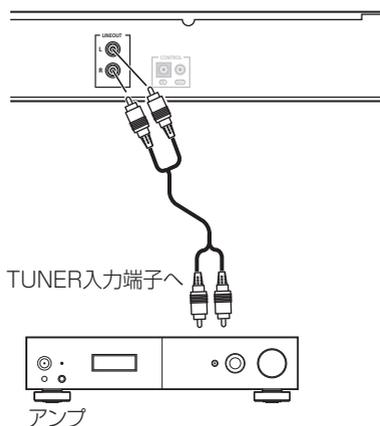
FM の受信感度を上げるために

F 型コネクターを使って、屋外用 FM アンテナを接続します。

AM の受信感度を上げるために

付属の AM ループアンテナを接続したまま、5 m～6 mの長さの AM 外部アンテナ（ビニール被覆線）を AM LOOP 端子に接続します。屋外に設置するときは、受信感度を上げるためアンテナを水平に伸ばして使用してください。

オーディオ機器を接続する

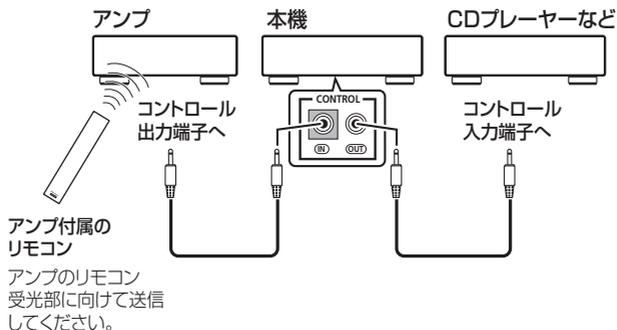
下図のように、付属のオーディオコードを使って本機の出力端子とアンプの TUNER 入力端子を接続します。プラグは奥までしっかりと差し込みます。

メモ

アンプ側に TUNER 入力端子がない場合は、LINE 端子、AUX 端子などに接続してください。

他のパイオニア製品をつないで集中コントロールする

コントロール入力 / 出力端子の付いた複数のパイオニア機器を本機と接続すると、アンプに付属のリモコンを使って基本操作をすることができます。

下図のように付属の SR コードを使って、本機のコントロール入力端子とアンプのコントロール出力端子をつなぎます。

本機の他にもアンプのリモコンを使って操作する機器があるときは、本機のコントロール出力端子とその機器のコントロール入力端子をつなぎます。

電源コードのつなぎかた

すべての接続が終了したら電源コードを家庭用電源コンセント（AC 100 V）に接続します。

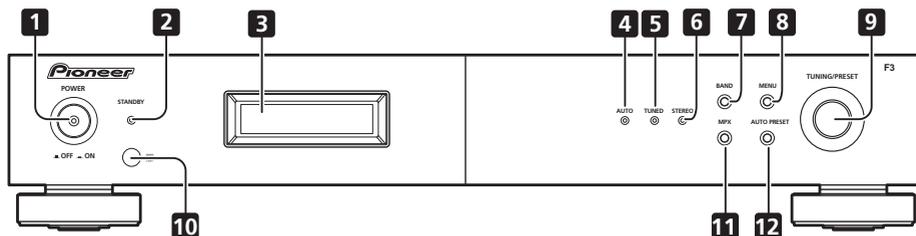
注意

- 本機の電源コードは着脱式になっていますが、付属しているコード（電流容量 12 A、本機側 2P プラグインソケット方式）以外の電源コードはご使用にならないでください。

メモ

- 旅行などで長期間本機を使用しない場合は、必ず主電源を切る、または電源コンセントから電源コードを抜いておいてください。ただし、1 カ月程度主電源を切ったり、電源コードを抜いた状態にしておくと、本機で設定した各種設定がリセットされますのでご注意ください。
- 電源コードを抜くときは必ず主電源を切ってからコードを抜いてください。
- 本機がスタンバイ状態のときに **POWER ボタン**を押して電源をオフにした場合、再び **POWER ボタン**を押しても電源はオンになりません。リモコンの **TUNER ⏻ ボタン**、または本体の **POWER ボタン**以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。
- 本機がスタンバイ状態のときに電源コードを抜いて電源をオフにした場合、再び電源コードを挿しても電源はオンになりません。リモコンの **TUNER ⏻ ボタン**、または本体の **POWER ボタン**以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。
- 停電などで家庭用電源が遮断されてしまった場合、電源復旧後の本機の状態は以下のようになります。
- 復旧時点で **POWER ボタン**が ON → 復旧前の状態で復帰します。
- 復旧時点で **POWER ボタン**が OFF → 通常の電源オフの状態になります。
- 復旧前がスタンバイ状態の場合は、復旧後もスタンバイ状態のままになります。

第 3 章
各部のなまえ

本体前面

1 POWER（∎OFF/▁ON）
主電源を入れます / 切ります。
電源を入れるとインジケーターが点灯します。

2 STANDBY インジケーター
スタンバイ（待機状態）中に点灯します。

3 表示窓

4 AUTO インジケーター
AUTO モードのときに点灯します。

5 TUNED インジケーター
ラジオ放送を受信しているときに点灯します。

6 STEREO インジケーター
ステレオ放送で受信しているときは赤く点灯します。モノラル放送で受信しているときは消灯します。
MPX モードを MONORAL に設定していると青く点灯します。

7 BAND
押すたびに FM/AM 受信バンドが切り換わります。

8 MENU
ボタンを押すと MENU モードに入ります。

9 TUNING/PRESET つまみ
放送を聞くとき周波数を合わせます。時計回りに回すと周波数が上がり、反対に回すと周波数が下がります。プリセット選局では、つまみを回してステーションナンバーを選べます。また放送局名を入力するとき、文字を選択します。

10 リモコン受光部

11 MPX
ボタンを押すたびに受信状況が以下のように切り換わります。
STEREO ―ステレオ放送は自動的にステレオ放送になります。（インジケーターが赤色に点灯します）
MONORAL ―ステレオ放送も強制的にモノラルになります。（インジケーターが青色に点灯します）
電波が弱くステレオ受信ではノイズが大きい場合、MONORAL にするとノイズを低減させることができます。
受信電波が弱いとき、STEREO にすると出力が自動的にミュートされます。その場合に MONORAL にすると、弱い電波も聞くことができます。
放送局をプリセットするときに MONORAL または STEREO に設定しておくと、設定モードが放送局ごとに記憶されます。

12 AUTO PRESET
FM または AM 放送を受信している状態で押すと、受信可能な放送局を自動的にサーチし、最大 100 局まで自動でプリセットチャンネルに登録します。A1 チャンネルから順に登録されます。（19 ページ）

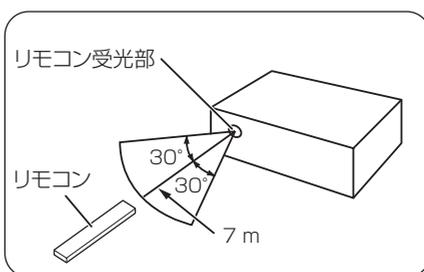
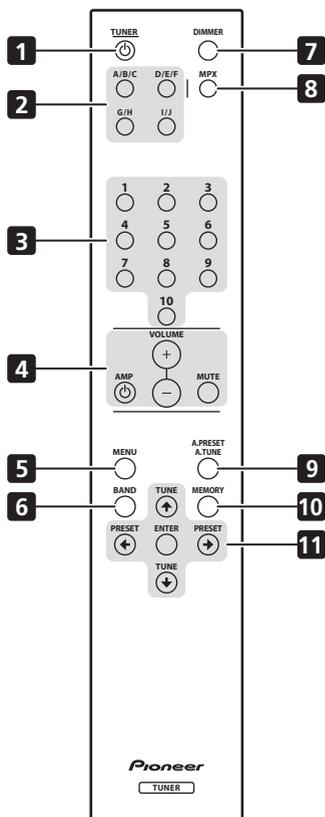
液晶表示素子 (LCD) について
本機で使用している液晶表示素子は、温度により変化する性質を持っています。室温が低い場合はコントラストが薄くなるなど、一部見づらくなりますが、常温になれば元に戻りますので安心してご使用下さい。

⚠ 注意

- 製品の仕様により、本体部やリモコン（付属の場合）のスイッチを操作することで表示部がすべて消えた状態となり、電源プラグをコンセントから抜いた状態と変わらなく見える場合がありますが、電源の供給は停止していません。製品を電源から完全に遮断するためには、電源プラグ（遮断装置）をコンセントから抜く必要があります。製品はコンセントの近くで、電源プラグ（遮断装置）に容易に手が届くように設置し、旅行などで長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

リモコンの操作範囲

本機をリモコンで操作するときは、リモコンをフロントパネルのリモコン信号受光部に向けてください。

- リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができない場合があります。
- 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。
  逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。
- リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。
- 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。

リモコン

1 TUNER ⏻
本機の電源を入れます / スタンバイ（待機状態）にします。

2 キャラクターボタン
プリセットした放送局名を選局するときに使います（18 ページ）。

3 ステーションコール / ナンバーボタン
放送局をプリセットするときや、プリセットした放送を受信するときに使います。また、ダイレクト選局をするときの周波数の入力に使います。

4 アンプ操作ボタン
パイオニア製アンプを操作することができます。
AMP ⏻
アンプの電源を入れます / スタンバイ（待機状態）にします。
VOLUME
音量を調整します。
MUTE
消音します。

5 MENU
ボタンを押すと MENU モードに入ります。

6 BAND
押すたびに FM/AM 受信バンドが切り換わります。

7 DIMMER
フロントパネル表示部の明るさを 3 段階で切り換えます。

8 MPX
ボタンを押すたびに受信状況が以下のように切り換わります。
STEREO ―ステレオ放送は自動的にステレオ放送になります（インジケーターが赤色に点灯します）。
MONORAL ―ステレオ放送も強制的にモノラルになります（インジケーターが青色に点灯します）。

9 A.PRESET/A.TUNE
FM 放送を受信している状態で押すと、ステレオで受信可能な放送局を自動的にサーチし、最大 100 局まで自動でプリセットチャンネルに登録します。A1 チャンネルから順に登録されます。

10 MEMORY
放送局をプリセットするとき、放送局名入力のときに使います。

11 チューニングボタン
TUNE ⬆ ⬇
ラジオの周波数を合わせます（17 ページ）。
PRESET ⬅ ➡
記憶したラジオ放送局を呼び出します（17 ページ）。

第４章

操作のしかた

ラジオ放送を聞く

放送局を受信するには自動選局（オートチューニング）と手動選局（マニュアルチューニング）の方法があります。一度受信した放送局は記憶させて、呼び出すこともできます。詳しくは「放送局を記憶する」（下記）をご覧ください。

1 **本機がスタンバイ状態であることを確認し、リモコンの TUNER ⏻ ボタンを押して電源を入れる。**

本体前面の POWER インジケーターが青色に点灯していることを確認してください。

2 **BAND ボタンを押して放送局を受信する。**

3 **MENU ボタンを押す。**

4 **TUNING/PRESET つまみを回して Search Mode を選んで、TUNING/PRESET つまみを押す。**

5 **TUNING/PRESET つまみを回して、以下のいずれかのモードを選び、TUNING/PRESET つまみを押すかリモコンの ENTER ボタンを押して決定する。**

以下の 2 つの方法で選局できます。

オートチューニング (AUTO)

本体側の TUNING/PRESET つまみを回す、またはリモコンの ⬆/⬇ ボタンを押して、周波数が動きはじめたら指を離します。自動で放送局を探し、受信すると止まります。次の放送局を探すときはもう一度押してください。

マニュアルチューニング (MANUAL)

本体側の TUNING/PRESET つまみを回す、またはリモコンの ⬆/⬇ ボタンを押すたびに 1 ステップずつ周波数を移動します。

メモ

・ リモコンの ⬆/⬇ ボタンを 0.5 秒以上長押しすると、連続チューニングします。指を離すと止まります。

FM の受信で STEREO インジケーターが点灯せず受信状態が悪いときは、MPX ボタンを押してモノラル受信に切り換えます。受信状態が良くなり放送が聞きやすくなります。

メモ

・ STEREO インジケーターが青く点灯します。

放送局を記憶する

本機では、よく聞く放送局を A ～ J に各 10 局ずつ、合計 100 局まで記憶することができます。

メモ

・ FM 放送を記憶したときは、MPX の設定も記憶されます。

1 **MENU ボタンを押す。**

2 **TUNING/PRESET つまみを回して Memory を選んで、TUNING/PRESET つまみを押す。**

プリセットモードになり、プリセットチャンネル番号が点滅します。

3 **TUNING/PRESET つまみを回して、プリセットチャンネル番号を選んで MEMORY ボタンを押して決定する。**

さらに他の放送局をプリセットしたい場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返してください。

メモ

・ プリセットされている番号にプリセットすると、前のメモリーは消去されて、新しい放送局がプリセットされます。

記憶した放送局を呼び出す

放送局を呼び出すには、その前に放送局を記憶する必要があります。放送局を記憶していない場合は、「放送局を記憶する」（17 ページ）をご覧ください。

1　BAND ボタンを押して放送局を受信する。

2　MENU ボタンを押す。

3　TUNING/PRESET つまみを回して Search Mode を選んで、TUNING/PRESET つまみを押す。

4　TUNING/PRESET つまみを回して Preset を選んで、TUNING/PRESET つまみを押すかリモコンの ENTER ボタンを押して決定する。

プリセットサーチモードになります。

5　TUNING/PRESET つまみを回して、呼び出したい放送局のステーション番号を選ぶ。

リモコンの ⬅/➡ ボタン、**ステーションコール / ナンバーボタン**、**キャラクターボタン**を使って呼び出すこともできます。

記憶した放送局に名前をつける

選局しやすいように、記憶した放送局に名前をつけることができます。

1　名前をつけたい放送局を選ぶ。

選局方法については、「記憶した放送局を呼び出す」をご覧ください。

 メモ

・ FM/AM 合わせて 100 局まで最大 8 文字の局名を登録できます。

2　MENU ボタンを押す。

3　TUNING/PRESET つまみを回して Station Name を選んで、TUNING/PRESET つまみを押す。

4　TUNING/PRESET つまみを押すかリモコンの ENTER ボタンを押して決定する。

名前は 8 文字まで入力できます。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#$%&'()*+,-./[\ ]^_:;<=>?[スペース **]**

- フロントパネルの TUNING/PRESET つまみまたはリモコンの ⬅/➡ ボタンで文字を選びます。
- フロントパネルの TUNING/PRESET つまみを押すか、リモコンの ENTER ボタンを押すと次の文字へカーソルが移動します。文字を入力せず空白のままにするには、スペースを入力してください。
- 最後の文字を選んだあとにフロントパネルの TUNING/PRESET つまみを押すか、リモコンの MEMORY ボタンを押すと、名前が記憶されます。

ヒント

- 入力した名前を消去するには、上記の手順 4 ですべてスペースを入力してください。

オートプリセットのしかた

1 **アンテナの接続を行い、放送局の受信を確認する。**

2 **AUTO PRESET ボタンまたは A.PRESET/A.TUNE ボタンを押してオートプリセットモードにする。**

3 **TUNING/PRESET つまみを押すかリモコンの ENTER ボタンを押して決定する。**

放送局を自動的にサーチして、プリセットチャンネル“A1”から順に記録していきます。

ラストチャンネルメモリーについて

- 次回電源を ON にした場合は、電源をスタンバイ状態にする前の状態（バンド、周波数、プリセットチャンネル番号、モード設定など）になります。
- この機能にはバックアップメモリーを使用しています。メモリーの内容は電源コードを抜いてから約 2 週間程度保持されます（機器の使用年月日により保持される時間が短くなることがあります）。

メモ

- 電波が弱くプリセットできない放送局は、手動でプリセットしてください。

第５章

その他

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら以下を調べてみてください。意外なミスが故障と思われています。また、本機以外の原因も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器もあわせてお調べください。
以下の項目を調べても直らないときは、修理を依頼してください。

症状	原因 / 対策
電源が入らない。	• 電源プラグがコンセントから抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んでください。 • 電源プラグが、AC IN 端子から抜けていませんか？電源プラグを正しく差し込んでください。 • 本機がスタンバイ状態のときに POWER ボタンを押して電源をオフにしていませんか？再び POWER ボタンを押しても電源はオンになりません。リモコンの TUNER ⏻ ボタン、または本体の POWER ボタン以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。 • 本機がスタンバイ状態のときに電源コードを抜いて電源をオフにしていませんか？再び電源コードを挿しても電源はオンになりません。リモコンの TUNER ⏻ ボタン、または本体の POWER ボタン以外のボタンを押して、電源をオンにしてください。。
音が出ない。	• 接続コードが端子から外れている。または、間違えて接続されていませんか？確実に接続してください。 • 端子や接続コードのピンプラグが汚れていませんか？端子やプラグの汚れを拭き取ってください。 • パイオニア製アンプの MUTE ボタンが ON になっていませんか？OFF にしてください。 • アンプの入力切り換えが TUNER にセットされていますか？入力切り換えを切り換えてください。 • 電源コードを数日間抜いていませんでしたか？放送局のプリセットメモリーが消去された可能性があります。再登録してください。 • 他の機器（アンプなど）の操作を間違えていませんか？他の機器の取扱説明書を参照してください。
リモコン操作ができない（他機器をリモコンで操作できない）。	• リモコンに電池は入っていますか？または電池が消耗していませんか？電池の入れ方を間違えていませんか？電池を正しく入れてください。または新しい電池に交換してください。 • 本機と距離が離れすぎていませんか？または角度が悪くありませんか？リモコンは本機との距離が約 7 m 以内、前面パネルとの角度が左右にそれぞれ 30 ° 以内で操作してください。 • 本機との間に障害物がありませんか？リモコンの操作場所を変えるか、障害物を取り除いて操作してください。 • 他機器のシステムコントロールコードは接続されていますか？正しく接続してください。 • 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっていませんか？リモコン信号受光部に光が直接当たらないようにしてください。

症状	原因 / 対策
雑音が多い。	< FM の場合> • 放送局の電波が弱くありませんか？ FM 専用の外部アンテナに交換してください。または MPX ボタンを押して、モノラル放送を受信してください。 • 他の機器の雑音が入っていませんか？アンテナを取り付ける位置や方向を変えてみてください。 • 受信場所の近くに山や高い建物があって、マルチパス（受信アンテナに直接受信される電波と、山や建物に反射して受信される電波が互いに影響しあうことにより、音がにごったり、雑音が生じたりする現象）が発生していませんか？アンテナを取り付ける位置や方向を変えてみてください。 < AM の場合> • 付属の AM ループアンテナの向きが悪くありませんか？アンテナの方向を変えてみてください。 • 他の機器の雑音が入っていませんか？雑音を発生させる機器の使用を止めるか、またはその機器とアンテナとを遠ざけてください。

本機を初期化する

以下の手順で、本機のすべての設定を工場出荷時の状態に初期化します。初期化はフロントパネルで行います。

1. **本体の POWER ボタンを押して、電源をオフにする。**
2. **MENU ボタンを押しながら本体の POWER ボタンを押して電源をオンにする。**
3. **表示部に Memory Clear? と表示されるので、本体の TUNING/PRESET つまみ、またはリモコンの ⬅/➡ ボタンで Yes か No を選択し、決定ボタンを押します。**
   Yes を選択すると工場出荷時の状態に初期化してからスタンバイ状態になり、No を選択するとそのままスタンバイ状態になります。

電源コードについての注意

電源コードは電源プラグ部を持って取り扱ってください。ショートや感電の原因となるため、コードを引っ張ってプラグを抜いたり、ぬれた手で電源コードに触れたりしないでください。
電源コードを傷つけないため、本機や家具の下敷きにならないようにしてください。電源コードは結び目を作ったり、他のコードと一緒に結んだりしないでください。
電源コードは、踏みつけられないように配線してください。破損したコードは火災や感電を引き起こします。電源コードに破損がないかを定期的に確認してください。
もし破損していたら、お買い上げの販売店へ交換を依頼してください。

使用上のご注意

本機のお手入れについて

- 磨き布や乾いた布で、表面のほこりや汚れを拭き取ってください。
- 表面が汚れているときは、中性洗剤を水で5～6倍に薄めたものに柔らかい布を浸してよく絞って、汚れを拭き取り、乾燥した布でから拭きします。家具用のワックスや洗剤は使用しないでください。
- 製品の表面がさびることがありますので、シンナー、ベンジン、殺虫剤などを製品にかけたり、製品の近くで使用しないでください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にいたしましょう。
ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
とくに静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞にはとくに気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

FM チューナー部

受信周波数 .... 76.0 MHz ～ 90.0 MHz
実用感度
.... モノラル : 14.2 dBf, IHF (1.4 μ V/75 Ω)
S/N50 dB 感度
.... モノラル : 20.2 dBf, IHF (2.8 μ V/75 Ω)
SN 比（85 dBf 入力時）.......... モノラル : 76 dB
.... ステレオ : 71 dB
高調波歪率 .... ステレオ : 0.6 %（1 kHz）
実効選択度 .... 70 dB（± 400 kHz）
ステレオセパレーション .... 45 dB（1 kHz）
周波数特性 .... 30 Hz ～ 15 kHz（± 1 dB）
イメージ妨害比..50 dB
IF 妨害比..95 dB
アンテナ .... 75 Ω 不均衡型

AM チューナー部

受信周波数 .... 522 kHz ～ 1629 kHz
受信感度（付属ループアンテナ）...... 350 μ V/m
選択度.......................................33 dB（± 9 kHz）
SN 比... 55 dB
イメージ妨害比..35 dB
IF 妨害比..65 dB
アンテナ .... ループアンテナ（付属）

出力部

出力端子（出力レベル／出力インピーダンス）
FM（100 %変調）............... 575 mVrms/2 kΩ
AM（30 %変調）................. 150 mVrms/2 kΩ

電源部・その他

電源 ....AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力 .... 8 W
スタンバイ時消費電力................................ 0.5 W
外形寸法 (幅 x 高さ x 奥行)
.... 420 mm x 78 mm x 344 mm
本体質量 .... 5.0 kg

付属品

リモコン 1
単４形乾電池（IEC R03）.................................. 2
電源コード 1
FM アンテナ... 1
AM ループアンテナ.. 1
オーディオコード.. 1
SR ケーブル 1
保証書 1
取扱説明書（本書）

仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書（別添）
保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

保証期間はご購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の最低保有期間
当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、最低 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談
お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。

修理を依頼されるとき
修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな？と思ったら」の項目をご確認ください。それでも異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、販売店へご依頼ください。ご転居されたり、ご贈答品などで、お買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、裏表紙の「ご相談窓口のご案内」・「修理窓口のご案内」をご覧になり、修理受付センターにご相談ください。

連絡していただきたい内容
- ご住所
- お名前
- お電話番号
- 製品名 : FM/AM チューナー
- 型番 : F-F3MK2
- お買い上げ日
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- 訪問ご希望日
- ご自宅までの道順と目標（建物や公園など）

保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

本製品は家庭用オーディオ機器（オーディオ・ビデオ機器）です。下記の注意事項を守ってご使用ください。

1. 一般家庭用以外での使用（例：店舗などにおけるBGMを目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、屋外での使用など）はしないでください。
2. 音楽信号の再生を目的として設計されていますので、測定器の信号（連続波）などの増幅用には使用しないでください。
3. ハウリングで製品が故障する恐れがありますので、マイクロフォンを接続する場合はマイクロフォンをスピーカーに向けたり、音が歪むような大音量では使用しないでください。
4. スピーカーの許容入力を超えるような大音量で再生しないでください。

S26_Ja

愛情点検

長年ご使用のAV機器の点検を！

このような症状はありませんか	・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。		ご使用中止	故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。

K026_A_Ja

その他

サービスステーションリスト

認定店は不在の場合もございますので、持ち込み希望のお客様は修理受付センターにご確認ください。サービス拠点への電話は、修理受付センターでお受けします。（沖縄の方は沖縄サービスステーションでお受けします。）

●北海道地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

店名	FAX	〒	住所
☆北海道サービスセンター	FAX 011-611-5694	〒064-0822	札幌市中央区北2条西20-1-3　クワザワビル
旭川サービス認定店	FAX 0166-55-7207	〒070-0831	旭川市旭町1条1丁目438-89
帯広サービス認定店	FAX 0155-23-7757	〒080-0015	帯広市西5条南28丁目1-1
函館サービス認定店	FAX 0138-40-6473	〒041-0811	函館市富岡町2-18-7

●東北地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

店名	FAX	〒	住所
☆東北サービスセンター	FAX 022-375-4996	〒981-3121	仙台市泉区上谷刈6-10-26
山形サービス認定店	FAX 023-615-1627	〒990-0023	山形市松波1-8-17
郡山サービス認定店	FAX 024-991-7466	〒963-8861	郡山市鶴見坦1-9-25　クレールアヴェニュー伊藤第2ビル1F D号
盛岡サービス認定店	FAX 019-656-7648	〒020-0051	盛岡市下太田下川原153-1
青森サービス認定店	FAX 017-735-2438	〒030-0821	青森市勝田2-16-10
八戸サービス認定店	FAX 0178-44-3351	〒031-0802	八戸市小中野3-16-8
秋田サービス認定店	FAX 018-869-7401	〒010-0802	秋田市外旭川字梶の目345-1

●東京都内

受付　月～土　9:30～18:00（日・祝・弊社休業日は除く）

店名	FAX	〒	住所
世田谷サービスステーション	FAX 03-3419-4234	〒155-0032	世田谷区代沢4-25-9
北東京サービスステーション	FAX 03-3944-7800	〒170-0002	豊島区巣鴨1-9-4　第三久保ビル1F
多摩サービスステーション	FAX 042-524-5947	〒190-0003	立川市栄町4-18-1　エクセル立川1F

●関東・甲信越地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

店名	FAX	〒	住所
☆東関東サービスセンター	FAX 043-207-2555	〒263-0014	千葉市稲毛区作草部町1369-1　椎の実ハイツ1F
松戸サービス認定店	FAX 047-340-5052	〒270-0021	松戸市小金原4-9-23
水戸サービス認定店	FAX 029-248-1306	〒310-0844	水戸市住吉町307-4
つくばサービス認定店	FAX 0298-58-1369	〒305-0045	つくば市梅園2-2-6
☆北関東サービスセンター	FAX 048-651-8030	〒331-0812	さいたま市北区宮原町1-310-1
川越サービス認定店	FAX 049-233-6581	〒350-0804	川越市下広谷1128-11
宇都宮サービス認定店	FAX 028-657-5882	〒321-0912	宇都宮市石井町3373-21
群馬サービス認定店	FAX 0270-22-1859	〒372-0801	伊勢崎市宮子町1191-17　パサージュ808伊勢崎101号
新潟サービス認定店	FAX 025-374-5756	〒950-0982	新潟市中央区堀之内南1-20-11
佐渡サービス指定店　横山電機商会	FAX 0259-63-3400	〒952-1209	佐渡市金井町千種1158-1
☆南関東サービスセンター	FAX 045-943-3788	〒224-0037	横浜市都筑区茅ヶ崎南2-18-1　ベルデユール茅ヶ崎
横浜サービス認定店	FAX 045-348-8661	〒240-0043	横浜市保土ヶ谷区坂本町250
神奈川西サービス認定店	FAX 046-231-1209	〒243-0422	海老名市中新田4-10-53　中山ビル1F
三宅島サービス指定店　勝見電機	FAX 04994-6-1246	〒100-1211	三宅村大字坪田
松本サービス認定店	FAX 0263-48-0575	〒390-0852	松本市大字島立180-5　パイオニア松本拠点1F
長野サービス認定店	FAX 026-229-5250	〒380-0935	長野市中御所1-24
甲府サービス認定店	FAX 055-228-8003	〒400-0035	甲府市飯田4-9-14

●中部地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

店名	FAX	〒	住所
☆中部サービスセンター	FAX 052-532-1148	〒451-0063	名古屋市西区押切2-8-18
岡崎サービス認定店	FAX 0564-33-7080	〒444-0931	岡崎市大和町字荒田36-1　大和ビレッジB-1
津サービス認定店	FAX 059-213-6712	〒514-0821	津市垂水522-5
岐阜サービス認定店	FAX 058-274-5256	〒500-8356	岐阜市六条江東1-1-3
静岡サービス認定店	FAX 054-236-4063	〒422-8034	静岡市駿河区高松1-17-17
沼津サービス認定店	FAX 055-967-8455	〒410-0876	沼津市北今沢12-7
浜松サービス認定店	FAX 053-422-1401	〒430-0912	浜松市中区茄子町355-1
金沢サービス認定店	FAX 076-240-0550	〒920-0362	金沢市古府3-60-1　K2ビル1F
富山サービス認定店	FAX 076-425-3027	〒939-8211	富山市二口町1-7-1
福井サービス認定店	FAX 0776-27-1768	〒910-0001	福井市大願寺3-5-9

●関西地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆関西サービスセンター	FAX	06-6310-9120	〒564-0052	吹田市広芝町5-8
大阪南サービス認定店	FAX	0722-75-2625	〒593-8322	堺市西区津久野町1-8-15　ローズマンション1F
神戸サービス認定店	FAX	078-265-0832	〒651-0093	神戸市中央区二宮町1丁目10-1　ローレル三宮ノースアベニュー1F
姫路サービス認定店	FAX	0792-51-2656	〒671-0224	姫路市別所町佐土1-126
和歌山サービス認定店	FAX	0734-46-3026	〒641-0021	和歌山市和歌浦東3-1-25
京都サービス認定店	FAX	075-352-2588	〒600-8322	京都市下京区西洞院通五条東南角小柳町513-2　五条久保田ビル1F
奈良サービス認定店	FAX	0742-36-8713	〒630-8132	奈良市大森西町21-26
福知山サービス認定店	FAX	0773-24-5375	〒620-0055	福知山市篠尾新町2-74　カマハチマンション

●中国・四国地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆中四国サービスセンター	FAX	082-248-9939	〒730-0041	広島市中区小町2-30　第二有楽ビル1F
岡山サービス認定店	FAX	086-244-8748	〒700-0975	岡山市北区今8-15-21
松江サービス認定店	FAX	0852-22-7779	〒690-0017	松江市西津田4-5-40　（有）テクピット内
福山サービス認定店	FAX	0849-31-2791	〒720-0815	福山市野上町3-12-9
鳥取サービス認定店	FAX	0857-28-8011	〒680-0934	鳥取市徳尾422-2
徳山サービス認定店	FAX	0834-33-5759	〒745-0006	周南市花畠町3-11　森広事務所1F
高松サービスステーション	FAX	087-861-4841	〒760-0078	高松市今里町1-16-1
徳島サービス認定店	FAX	088-669-6076	〒770-8023	徳島市勝占町中須92-1　大松ジョリカ地下1階103号
高知サービス認定店	FAX	088-802-3321	〒780-0051	高知市愛宕町3-12-13　晃栄ビル1F
松山サービス認定店	FAX	089-911-5608	〒791-8013	松山市山越5-12-8

●九州地区

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）
☆拠点は、土曜も受付　9:30～12:00、13:00～18:00（弊社休業日は除く）

☆九州サービスセンター	FAX	092-412-7460	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南2-12-3
北九州サービス認定店	FAX	093-941-8354	〒802-0044	北九州市小倉北区熊本1丁目9-4　植田ビル1F
博多サービス認定店	FAX	092-461-1643	〒812-0006	福岡市博多区上牟田2-6-7
西九州サービス認定店	FAX	0952-20-1991	〒840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2688-1
長崎サービス認定店	FAX	095-849-4606	〒852-8145	長崎市昭和1丁目12-10　クリスタルハイツ平野
熊本サービス認定店	FAX	096-331-3323	〒862-0918	熊本市花立5丁目14-17
大分サービス認定店	FAX	097-551-2049	〒870-0921	大分市萩原3-23-15　日商ビル101
宮崎サービス認定店	FAX	0985-27-3136	〒880-0821	宮崎市浮城町98-1
鹿児島サービス認定店	FAX	099-201-3803	〒890-0046	鹿児島市西田3-8-24　サニーサイド21 1F

●沖縄県

受付　月～金　9:30～18:00（土・日・祝・弊社休業日は除く）

沖縄サービスステーション	TEL	098-879-1910	〒901-2113	浦添市大平2-2-6　ひろえハイツ102
	FAX	098-879-1352		

平成21年4月現在　　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

その他

＜各窓口へのお問い合わせの時のご注意＞
「0120」で始まる フリーコールおよび フリーダイヤルは、PHS、携帯電話などからは、ご使用になれません。
また、【一般電話】は、携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。

ご相談窓口のご案内

パイオニア商品の修理・お取り扱い（取り付け・組み合わせなど）については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

商品についてのご相談窓口

● 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

カスタマーサポートセンター（全国共通フリーコール）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■家庭用オーディオ/ビジュアル商品	0120−944−222	一般電話　03−5496−2986
■ファックス	03−3490−5718	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/ ※商品についてよくあるお問い合わせ・メールマガジン登録のご案内・お客様登録など	

修理窓口のご案内

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の『故障かな？と思ったら』を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

修理についてのご相談窓口

● お買い求めの販売店に修理の依頼が出来ない場合

修理受付センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜・日曜・祝日9:30～12:00、13:00～17:00（弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81028（ゴーハ゜イオニア）	一般電話　03−5496−2023
■ファックス	0120−5−81029	
■インターネットホームページ	http://pioneer.jp/support/repair.html ※インターネットによる修理受付対象商品は、家庭用オーディオ/ビジュアル商品に限ります	

沖縄サービスステーション（沖縄県のみ）

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00（土曜・日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■一般電話	098−879−1910
■ファックス	098−879−1352

部品のご購入についてのご相談窓口

● 部品（付属品、リモコン、取扱説明書など）のご購入について

部品受注センター

受付時間　月曜～金曜9:30～18:00、土曜9:30～12:00、13:00～18:00（日曜・祝日・弊社休業日は除く）

■電話	0120−5−81095	一般電話　0538−43−1161
■ファックス	0120−5−81096	

平成21年4月現在　記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。　VOL.031

ⓒ 2009パイオニア株式会社　禁無断転載

パイオニア株式会社　〒153-8654 東京都目黒区目黒1丁目4番1号

<5707-00000-207-0S>